

あなたの身近にいつも…アキレス

Achilles

第102期 報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

未来へ世界へ、
……ing.

証券コード：5142

CONTENTS

トップインタビュー	P1
セグメント別事業の概況	P3
トピックス	P9
連結財務ハイライト・連結財務諸表	P11
会社概要／株式の状況	P13

トップインタビュー

株主・投資家の皆様には平素は格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。

当社グループの第102期の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

Q 第102期を振り返ってのご感想をお願いします。

A 当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の流行が継続したものの、ワクチン接種の進展や行動制限の緩和、各国の経済政策などの効果により回復傾向となりました。その一方で、経済活動の本格化に伴う需給バランスの悪化やウクライナ情勢によるエネルギー・原材料価格の上昇などの影響がありました。

日本経済も、新型コロナウイルス感染症の流行継続の中、ワクチン接種の進展や行動制限の緩和による持ち直しが見られたものの、新たな変異株の出現や、半導体不足、エネルギー・原材料価格の上昇などの影響により、先行き不透明な状況が継続しました。

Q どのような取り組みをされたのか具体的に説明ください。

A このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が

求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には感染症対策製品、省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当期連結業績は売上高75,953百万円(前期は73,617百万円)、営業利益855百万円(前期は1,569百万円)、経常利益1,595百万円(前期は2,080百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益1,525百万円(前期は3,215百万円)となりました。



代表取締役社長

日景一郎

Q 今後に向けての事業展開について ご説明ください。

A ウクライナ情勢の悪化や世界経済の回復などに伴う原油価格の高騰、半導体不足などが景気回復に影響を与えることが予想されます。

また、今後も新型コロナウイルス感染症の流行は継続するものと考えられますが、ワクチン接種の進展に伴う行動制限の緩和や経済対策の実施により、経済は回復に向かうものと期待されます。しかし、感染収束までは感染拡大防止と経済活動活性化のバランスを図る取り組みが続き、不安定な状況が継続するものと考えられます。

中長期的には、国内では少子高齢化の進行に伴い、人口減少と年齢構成の変化による生産活動や消費行動の一層の多様化が予測され、世界的には、新興国の生産・消費が回復・拡大すると予想されます。その一方で、SDGs(持続可能な開発目標)の重要性がさらに増し、脱炭素社会に向けて企業の変革が求められると思われれます。また、AI、ICT技術の発達には新たな事業を創出・拡大する反面、既存事業の構造や働き方の改革が求められることが予想されます。

また、大きな自然災害や感染症の拡大により、多数の尊い人命が奪われ、経済活動にも大きな影響を与えましたが、このような不確実性の高い社会に対応する柔軟で強靱な体質を作り上げていかなければなりません。

世界・日本における生産や消費の大きな変化に対応し、持続的な成長を遂げるため、当社グループが保有する技術と経営資源を最大限に活かし、積極的・効率的な展開を図ることにより「企業に社会に未来に、新たな価値を創り続けていくこと」で『人と環境にやさしく快適な生活空間を創造する企業』を目指します。

Q 最後に株主・投資家の皆様に向けて 一言お願いします。

A 当社グループは、持続的成長を遂げ企業価値を高めることを目的としてグループ全員が情熱と論理をもって、国際的に逞しい会社を目指し、より大きな価値を創造する企業集団を構築してまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

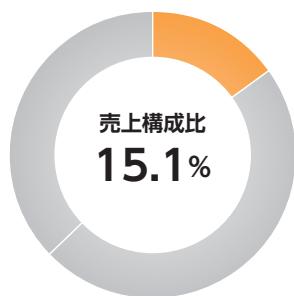
注記 当社グループは、「収益認識に関する会計基準」等を当連結会計年度の期首から適用しております。この結果、前連結会計年度と収益の会計処理が異なることから、本報告書の経営成績に関する説明において増減額および前年同期比(%)を記載せずに説明しております。

セグメント別事業の概況

シューズ事業

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい市況が継続しましたが、主力である衝撃吸収素材「ソルボセイン」搭載のコンフォートシューズ「アキレス・ソルボ」やジュニアスポーツシューズ「瞬足」、世界有数のランニングシューズブランド「BROOKS(ブルックス)」の販売が回復しました。

セグメント別売上高

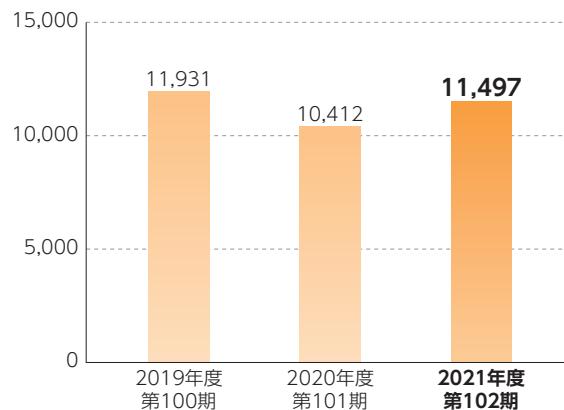


■売上高 **11,497**百万円

注記 2021年度(第102期)の期首から適用の「収益認識に関する会計基準」等により、売上高は125百万円減少しております。

シューズ事業売上高推移

単位：百万円



プロダクト インフォメーション

アキレス・ソルボ

“一歩をつつむ、心をほどく。”をブランドコンセプトにしたレザーシューズ「アキレス・ソルボ」から、大人の女性に向けたニューラインとして、スポーツアイテムとは一線を画すミニマルで上質なスニーカーを上市しました。「アキレス・ソルボ」の持つ履き心地はそのままに、カジュアル過ぎない大人の上品な着こなしと柔らかい「抜け感」を演出します。

ACHILLES SORBO



瞬足

累計販売7,800万足を突破し、ブランド誕生19周年を迎えたジュニアスポーツシューズブランド「瞬足」。2021年秋冬の運動会モデルとして登場した「CODE ZERO(コードゼロ)」の最新作では、中底にダイヤテックス株式会社が開発した独自の延伸・製造技術から生まれた新しい複合素材「KaRVO™(カルヴォ™)」を採用。「KaRVO™」は、自己強化プラスチックとも呼ばれ、軽量性、反発性、耐衝撃性(割れにくい)に優れており、一步一步跳ね上がるような走りをサポートします。

BROOKS(ブルックス)

全米ランニングシューズ専門店シアNo.1*を誇る「BROOKS(ブルックス)」。ブランド史上初のカーボンニュートラルシューズとして上市した「Ghost14(ゴースト14)」では、リサイクルポリエステルをアッパー素材に最低30%、インソールのトップライナーとシュータンの裏地、つま先ボックスの補強などに100%使用するなど、気候変動対策に積極的に取り組んでいます。

*2018年米国ランニングシューズ専門店における大人用ランニングシューズ100\$以上のカテゴリ(NPD's Retail Tracking Serviceによる)

 **BROOKS**



プラスチック事業

当連結会計年度において、防災事業部を新たに設置し、従来の引布販売部の業務を移管しております。これは、年々増加する自然災害・疫害に対して、長年培ってきた技術・経験を生かし、予防対策から災害時の救助・救命、避難所支援、復旧・復興活動にいたるまで、必要な製品・サービスを提供し、人々の暮らしと命を守り、安全・安心な社会の実現を目指すことを目的としております。この新設・移管に伴い、「引布商品」を「防災対策商品」に名称変更しております。

車輦内装用資材は、半導体不足、新型コロナウイルス感染拡大による部品不足の影響を受けた自動車メー

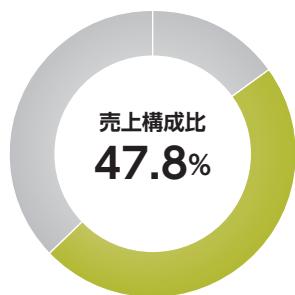
カーの生産停止および減産が継続し、国内は苦戦しましたが、北米、中国市場では販売が回復しました。

化成品は、北米向け医療用フィルム、中国・台湾向けエレクトロニクス用フィルム、欧州・豪州向けエクステリア用フィルムなどの海外向け製品が大きく伸長し、国内では農業・林業用生分解性フィルムが好調に推移しました。

建築資材は、住宅設備部品の供給難などによる建物の完工遅延の影響を受けましたが、新柄投入の効果により回復基調で推移しました。

防災対策商品は、米国向けゴムボートの販売が好調に推移しましたが、エアータントが伸び悩みました。

セグメント別売上高



■ 売上高 **36,307**百万円

注記 2021年度(第102期)の期首から適用の「収益認識に関する会計基準」等により、売上高は1,577百万円減少しております。

プラスチック事業売上高推移

単位：百万円



プロダクト インフォメーション

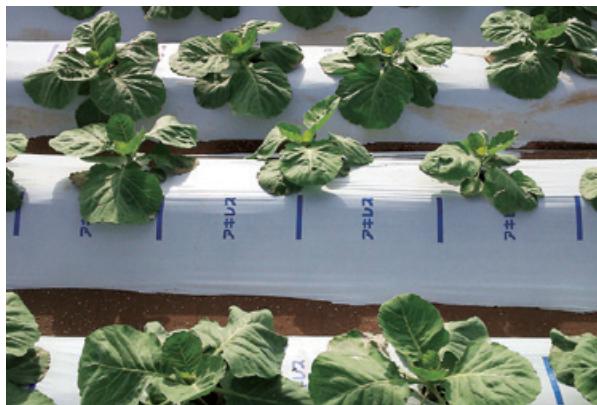


海外商業施設向け壁紙 「VIRADE」

2021年5月より販売を開始した新シリーズの壁紙です。日本の伝統素材の持つ生命感を表現し、安らげる空間づくりや特別感を演出します。東南アジアを中心にWEBを活用した広告宣伝も開始し、各所から好評を得ています。

感染症対策用陰・陽圧式エアートント 「NPI-66」

陰・陽圧式エアートント「NPシリーズ」の改良型です。コロナ禍のPCR検査会場として広く使用された経験を活かしてテント内を複数のゾーンに仕切り、検査時における医療従事者の飛沫感染リスクに対する安全性を高めました。



生分解性マルチフィルム 「ビオフィレックスマルチ」

土中の微生物によって、二酸化炭素と水に分解される環境に配慮したフィルムです。柔軟性と強度に優れ、高い地温上昇効果や雑草防止効果も有しています。



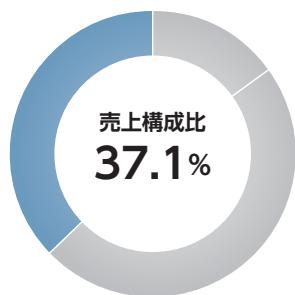
産業資材事業

ウレタンは、主力の寝具・車輛用が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて低調に推移しました。

断熱資材は、戸建住宅向けのボード製品、パネル製品、スチレン製品が伸長しました。

工業資材は、海外ユーザーを中心とした半導体分野向け搬送用部材の販売が拡大し、国内では医療機器向けRIM成形品が伸長しました。

セグメント別売上高



■ 売上高 **28,148**百万円

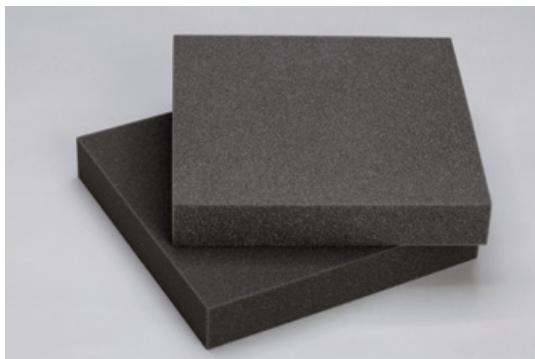
注記 2021年度(第102期)の期首から適用の「収益認識に関する会計基準」等により、売上高は1,538百万円減少しております。

産業資材事業売上高推移

単位：百万円



プロダクト インフォメーション



ハロゲンフリー高難燃ウレタンフォーム

ハロゲン系難燃剤を使用しない環境対応型の高難燃ウレタンフォームです。自動車の内装材、鉄道車輛や電子・電気部品など用途に応じた、様々な厳しい難燃性試験をクリアしているほか、吸音性にも優れています。



ウエハー出荷容器 「NA-300LA」

ホールド機構「コンプレッションタブ」により半導体シリコンウエハーを輸送中の振動から保護し、安全に搬送する容器です。機械によるウエハーの自動梱包にも対応しています。洗浄することでリユース可能となっており、環境対策にも貢献しています。



高性能硬質ウレタンフォーム断熱材 「キューワンボード」

高性能硬質ウレタンフォームに遮熱性能の優れたアルミ箔面材を組み合わせた断熱材です。一般的な発泡樹脂系(ウレタン、フェノール等)断熱材よりも長期的な断熱性能に優れ、木造住宅への外張り工法で省エネルギーに貢献しています。

防災事業部の取り組み

当社は2021年10月1日に、防災・減災を通じた社会的課題の解決を目的として、事業部横断的な防災関連ビジネスを推進するため、防災事業部を発足しました。当事業部では、行政機関で必要とされる防災製品以外にも、民間のBCP(事業継続計画)対策から一般消費者まで多様化するニーズに応える製品開発・サービス提供を進めています。

2021年10月20日から22日にかけて開催された「危機管理産業展2021 (RISCON TOKYO)」では、他の事業部や子会社とともにグループ丸となって展示を実施。当社防災事業の取り組みを認知していただくとともに、お客様から直接感想やご意見をいただく貴重な機会となりました。また、同展示会内ではレスキューボート「DEIB-310」が「防災防疫製品大賞2021」の防災製品部門にて最優秀賞を受賞することができ、今後の事業への弾みとなりました。

その他にも自治体向けの取り組みとして、栃木県足利市を皮切りに複数の自治体と災害時応援協定を締結しました。頻発化、激甚化する自然災害への対策として、資機材やサービスの提供を進めることにより、地域防災活動を積極的に支援します。

今後も防災関連製品・サービスの開発と拡販に注力し、「防災のアキレス」の認知拡大と、会社の新たな柱となる事業への展開を目指します。



「首都圏ネットワーク」で「ALL DAY Walk(オールデイウォーク)」紹介

2021年12月1日に放送された「首都圏ネットワーク」(NHK)内の首都圏防災情報コーナーにて、東日本大震災を経験した女性社員の声をもとに“20km歩けるパンプス”をコンセプトとして誕生した当社ブランド「ALL DAY Walk(オールデイウォーク)」が紹介されました。

2021年10月、関東地方で最大震度5強の地震が発生すると帰宅困難者が多数発生。その際にユーザーの方がSNSで「ALL DAY Walk」を紹介したところ大きな反響となり、取材につながりました。番組では試着された記者の方から一般のパンプスとの履き心地の違いについて感想をいただき、非常時でも働く女性を足元から支えてくれる商品として紹介されました。



「導電性表皮材」をトヨタ自動車に供給

2021年11月発売のトヨタ自動車株式会社「カローラ」特別仕様車に新開発の「導電性表皮材」が搭載されています。

当社は、静電気対策と車両用シート表皮材について長年にわたり培われた技術を有しております。これらを応用するとともにトヨタ自動車株式会社の協力を得て「導電性表皮材」の開発を進め、「カローラ」特別仕様車の「除電スタビライジングプラスシート」*として結実しました。今後も保有技術を活かし、人と環境にやさしく快適な生活空間を創造していく企業を目指してまいります。



*運転席のシートに「導電性表皮材」を用いることにより、ドライバーと周辺に溜まっている静電気をボディ全体に分散させて帯電量を軽減。安定した車両挙動に貢献するとともに、より疲れにくく、気持ちのいいドライビングに寄与します。

「アキレスQZ-Box(キュージーボックス)」発売

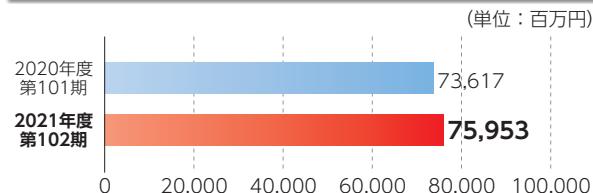
2022年4月1日、保冷ボックス「アキレスQZ-Box(キュージーボックス)」を発売しました。

本製品には、住宅建材分野で高い実績を誇る高性能硬質ウレタンフォーム断熱材「キューワンボード」を使用。天面のポケットに蓄冷材を収納することで、35℃の環境下でも12時間にわたり内容物の温度を8℃以下にキープすることが可能です*。保冷輸送のニーズが高まっている食品配送、低温・定温輸送の求められる医薬品・ワクチン輸送をターゲットに据え、断熱資材事業としての新市場参入にチャレンジします。



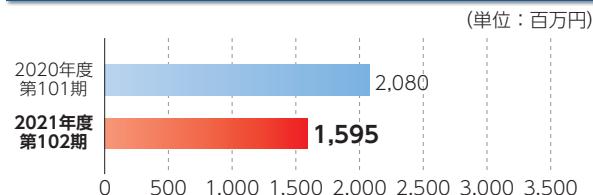
*当社調べ(詳細は当社HPより2022年3月1日付ニュースリリースをご確認ください)

売上高

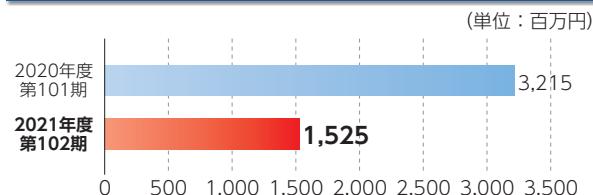


注記 2021年度(第102期)の期首から適用の「収益認識に関する会計基準」等により、売上高は3,241百万円減少しております。

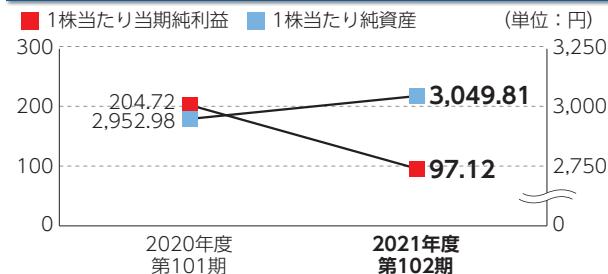
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益・1株当たり純資産



● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2022年3月31日現在	前連結会計年度 2021年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	44,428	43,816
固定資産	35,694	33,046
有形固定資産	25,499	22,625
無形固定資産	400	304
投資その他の資産	9,795	10,116
資産合計	80,123	76,862
【負債の部】		
流動負債	24,406	23,109
固定負債	7,988	7,366
負債合計	32,395	30,476
【純資産の部】		
株主資本	43,997	43,377
その他の包括利益累計額	3,731	3,009
純資産合計	47,728	46,386
負債・純資産合計	80,123	76,862

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	75,953	73,617
売上原価	60,293	57,615
売上総利益	15,660	16,001
販売費及び一般管理費	14,804	14,431
営業利益	855	1,569
営業外収益	866	667
営業外費用	127	156
経常利益	1,595	2,080
特別利益	927	(注記2) 2,200
特別損失	292	132
税金等調整前当期純利益	2,229	4,148
法人税、住民税及び事業税	598	651
法人税等調整額	105	280
当期純利益	1,525	3,215
親会社株主に帰属する当期純利益	1,525	3,215

注記 1. 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。
2. うち、関係会社株式売却益2,181百万円であります。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,707	4,509
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,030	△2,830
財務活動によるキャッシュ・フロー	△860	△650
現金及び現金同等物に係る換算差額	642	90
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△541	1,119
現金及び現金同等物の期首残高	8,129	7,010
現金及び現金同等物の期末残高	7,588	8,129

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	14,640	4,838	24,209	△311	43,377	686	87	△183	2,418	3,009	46,386
会計方針の変更による累積的影響額			△45		△45						△45
会計方針の変更を反映した当期首残高	14,640	4,838	24,164	△311	43,332	686	87	△183	2,418	3,009	46,341
当期変動額											
剰余金の配当			△785		△785						△785
親会社株主に帰属する当期純利益			1,525		1,525						1,525
自己株式の取得				△75	△75						△75
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△278	△81	1,271	△189	721	721
当期変動額合計	-	-	739	△75	664	△278	△81	1,271	△189	721	1,386
当期末残高	14,640	4,838	24,904	△386	43,997	408	5	1,087	2,229	3,731	47,728

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

会社概要 / 株式の状況

● 会社概要 (2022年3月31日現在)

社名	アキレス株式会社
設立	1947年5月
資本金	14,640,795,671円
従業員数	1,255名
本社	〒169-8885 東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー
関西支社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー23階

営業所	北海道営業所 / 九州営業所
工場	足利第一工場 / 足利第二工場 滋賀第一工場 / 滋賀第二工場 美唄工場 / 九州工場
連結対象子会社	ACHILLES USA, INC. 阿基里斯(上海)国際貿易有限公司 アキレスコアテック株式会社 関東アキレスエアロン株式会社 大阪アキレスエアロン株式会社 その他14社

● 役員 (2022年6月29日現在)

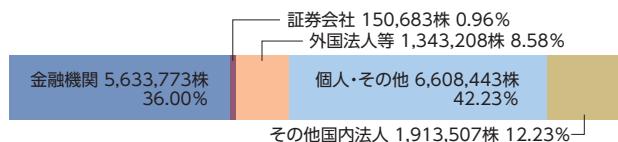
代表取締役社長	日景一郎	
取締役会長	伊藤守	
専務取締役	藤澤稔	(管理部門統轄兼CSR担当)
常務取締役	横山浩樹	(製造部門統轄兼研究開発本部長)
取締役	大蔵孝勝	(プラスチック部門担当兼車輻輳資材事業部長)
取締役	本川勝也	(産業資材部門担当)
取締役	柳本川達也	(海外事業推進担当兼工業資材事業部長兼工業資材販売部長)
取締役	河野和晃	(管理部門統轄補佐兼経理本部長)
取締役	佐藤修均	
取締役	舘野茂	
取締役(常勤監査等委員)	山田茂幸	
取締役(常勤監査等委員)	菊入信昌	
取締役(監査等委員)	須藤昌子	
取締役(監査等委員)	有賀美典	
取締役(監査等委員)	笠原智恵	

注記 取締役佐藤修氏、舘野均氏、須藤昌子氏、有賀美典氏および笠原智恵氏は、社外取締役であります。

● 株式の総数等 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	15,862,714株
株主数	13,413名

● 株式分布状況 (2022年3月31日現在)



注記 上記のほか、当社保有の自己株式213千株があります。

● 執行役員 (2022年6月29日現在)

執行役員	柏木功次	(建築事業部長兼デザインセンター長)
執行役員	瀬林弘	(安全環境担当兼製造管理本部長)
執行役員	小松光	(関西支社長)
執行役員	海野実	(シューズ事業部長)
執行役員	根岸康夫	(北米担当兼防災事業部長)
執行役員	松宮稔明	(物流改革担当兼情報システム部長)
執行役員	河原雅也	(シューズ製造本部長)
執行役員	黒田登志也	(プラスチック製造本部長)
執行役員	吉田隆	(ウレタン事業部長)
執行役員	佐藤裕二	(購買部長)
執行役員	中野浩久	(断熱資材事業部長兼断熱資材販売部長)
執行役員	越智智一	(化成品事業部長兼フィルム販売部長)
執行役員	川島英生	(製造部門統轄補佐兼生産革新担当兼品質保証本部長)
執行役員	小嶋宗一	(人事総務部長)
執行役員	市川弘樹	(コンプライアンス本部長兼法務室長兼コンプライアンス推進室長)

● 大株主 (2022年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,709	10.93
東京アキレス協和会	751	4.80
株式会社みずほ銀行	710	4.54
足利アキレス協和会	574	3.67
大阪アキレス協和会	516	3.30
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	436	2.79
朝日生命保険相互会社	431	2.76
株式会社三菱UFJ銀行	352	2.25
株式会社足利銀行	343	2.20
セコム損害保険株式会社	315	2.01

注記 上記のほか、当社保有の自己株式213千株があり、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会	6月中
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (トラストラウンジ除く)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (トラストラウンジ除く) みずほ銀行 本店および全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公 告 方 法 電子公告 (<https://www.achilles.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待のご案内

お問い合わせは、当社「株主優待係」まで
(電話03-5338-9205)

ウォーキングシューズ「ACHILLES SORBO(アキレス・ソルボ)」などの各種シューズ、そして「SORBOTHANE(ソルボセイン)」の特性を活かしたインソール、サポーターなどを100株以上ご所有の株主の皆様へ、当社で選定した商品のカタログおよびWEBよりご優待価格でお買い求めいただけます。

WEBを利用してご注文の場合は、原則として「アキレスウェブショップ」で取り扱いしております全商品が優待対象となります。

100株以上500株未満ご所有の株主様は参考小売価格の3割引、500株以上ご所有の株主様は参考小売価格の5割引にてご提供させていただきます。



※写真の商品は「アキレス・ソルボ」です。

あなたの身近にいつも…アキレス

Achilles

アキレス株式会社

〒169-8885
東京都新宿区北新宿二丁目21番1号
新宿フロントタワー
<https://www.achilles.jp>

UD
FONT

